

令和3年度 第3セクター・土地開発公社 事業報告

株式会社 奥出雲振興

今期も、新型コロナウイルスの影響により年間を通して売り上げの減少となったが、経費を抑制し、営業損益は改善した。

総売上高	4億507万円
(前年比)	100.5%
純利益	△3723万円
《玉峰山荘》	
売上高	2億4215万円
純利益	△2294万円
《サイクリングターミナル》	
売上高	3584万円
純利益	△681万円
《特産市》	
売上高	8792万円
純利益	337万円
《斐乃上荘》	
売上高	3916万円
純利益	△1085万円

大垣照子議員 人件費のコントロールによって収益が改善されたとのことであるが、人事管理がどうなっているのか。

まちづくり産業課長 4館あるが、それぞれの施設で営業時間や利用状況等により人の配置を調整した。このことにより人件費が抑制できた。

有限会社 奥出雲椎茸

今期は、収量が計画を大きく下回り、さらに原油価格の高騰により光熱費、燃料費材料費等経費が増加し、大きな赤字となった。

売上高	7億90万円
(前年比)	74.0%
純利益	△5126万円

大垣照子議員 大きな債務があるのに、立て直すことができるのか。

町長 非常にきびしい状況である。少しでも損益が改善できるように社長として頑張っていく。

奥出雲仁多米 株式会社

今期は、コロナ禍の影響もあったが、「特別栽培米」の拡販を図り、特に通信販売の受注が好調であり、リピーター率を高め、昨年並みの利益を確保できた。

売上高	5億4846万円
(前年比)	97.1%
純利益	481万円

大垣照子議員 昨年、米価は大きく下落した。下がった米価で仕入れたのか。

農林振興課長 昨年の米価については、下落した金額で仕入れている。ただし、この下落に対し、ブランド加算を300円上乗せしている。

株式会社 仁多堆肥センター

今年も堆肥需要に対し、供給量が不足する状況であったが、農家への協力をお願いし、対処した。

売上高	4015万円
(前年比)	99.5%
純利益	7万円

北村千寿議員 堆肥の販売量が令和4年度の計画は増えているが、ストックヤードの増

設整備によるものか。
農林振興課長 スtockヤードの機能強化により法人の需要に対応できる製造量を見込んでいく。

一般社団法人奥出雲町農業公社

今年も農地利用集積田滑化事業、農地の保全管理事業並びに奥出雲和牛の繁殖育成事業を実施。

売上高	1億3109万円
(前年比)	104.3%
純利益	△115万円

北村千寿議員 新たに育成牛、妊娠牛の町外への販売の取組みについて検討を。

農林振興課長 町外販売の可否を確認し、可能であれば検討する。

株式会社 舞茸奥出雲

コロナ禍の影響を受け直売所の売上が減少、また大手企業の参入により低価格帯での販売となった。

売上高	1億8821万円
(前年比)	92.5%
純利益	△318万円

大垣照子議員 事業報告や計画書がスリムになったが。

農林振興課長 担当者が変わり、簡潔明瞭に表記された。

奥出雲町土地開発公社

事業収益	1509万円
(前年比)	100.5%
純利益	395万円